



近江商人発祥の地 てんびんの里

ごかしょう 五個荘

滋賀県東近江市

- 白壁と蔵屋敷まつぷ -



金堂まちなみ保存交流館
Kondo Machinami Hozon Koryukan



三中井百貨店、中江4兄弟の三男・富十郎の邸宅。二階は明治6年に増築されたとある。まちなみ保存会がボランティアで管理・運営。季節に応じて企画展を開催。コーヒーやかりんとう、他にも物産販売有。 WC

●開館時間 10:30~16:30 ●入館無料 ☎0505-801-7101

至石馬寺
金堂電田口

五個荘近江商人屋敷 Gokasho Omishonin Yashiki
①②③ 3館共通入館料 大人 600円 小人 300円
①~⑤ 5館共通入館料 大人 1000円 小人 430円
●開館時間 ①~④ 9:30~16:30 ⑤ 9:30~17:00(入館受付は16:30まで)

① 五個荘近江商人屋敷 中江準五郎邸 Nakae-Jungoro
昭和初期、朝鮮半島や中国で三中井百貨店を築いた中江家4兄弟の末の準五郎の本宅。明治38年(1905)、朝鮮大邸に三中井呉服店を創業し、昭和9年(1934)に株式会社三中井百貨店となる。戦前まで、本宅を金堂に置き、朝鮮半島・中国で約20店舗を経営した。蔵の中には五個荘が生んだ郷土玩具・小幡人形と全国の土人形を多数展示紹介している。 ☎0748-48-3399 WC

② 五個荘近江商人屋敷 外村宇兵衛邸 Tonomura-Uhē
初代外村宇兵衛(1777-1820)は、近江商人であった六代目外村と左衛門の末子。後に分家し、文化10年(1813)に独立経営。主に呉服太物を商う。明治期には全国の長者番付に名を連ねる。明治29年(1896)ころの隆盛時には、2,720㎡の敷地に主屋・書院・大蔵など、蔵が十数棟が立ち並んでいた。母屋は万延元年(1860)築。外村繁邸の本家にあたる。 ☎0748-48-5557 WC

③ 五個荘近江商人屋敷 外村繁邸 Tonomura-Shigeru
明治28年(1895)、四代目外村宇兵衛の妹みわに婿養子吉太郎(1868-1953)を迎えて分家したのが始まり。東京日本橋と高田馬場に呉服木綿問屋を開き、活躍した。吉太郎の三男は、私小説家として知られる外村繁(1902-1961)。繁は、一時家業を継ぎ商人となるが、文学を志し弟に家業を託す。「草筏」「筏」「花筏」など近江商人を題材にした小説や自らの人生をつづった数多くの作品を残した。 ☎0748-48-5676 WC

④ 五個荘近江商人屋敷 藤井彦四郎邸 Fujii-Hikoshiro
藤井彦四郎(1876-1956)は、近江商人の三代目藤井善助の次男として生まれ、後に分家して藤井糸店を創業。当時、珍しかった人造絹糸や「小町糸」の発売、「スキー毛糸」の製造販売など時代を敏感にとらえて、一代で成功した。屋敷地には、藤井彦四郎自身の構想で珍石・名木を配し、琵琶湖を模した池を中心に設けた池泉廻遊式の大庭園をはじめ、主屋、客殿、洋館、土蔵が立ち並んでいる。(客殿・洋館は県指定文化財、庭園は市指定名勝、その他は国登録文化財) ●入館料 大人 300円 小人 100円 ☎0748-48-2602 P WC

⑤ 近江商人博物館・中路融人記念館 Ohmi Merchant Museum・Nakaji Yujin Museum
近江商人を知る第一歩。映像やジオラマを用いて、地域の歴史、近江商人の商法や家訓、その暮らしや文化、教育などさまざまな角度から、展示紹介している。中路融人記念館では、東近江市にゆかりのある日本画家・中路融人が情緒豊かに描いた湖国の原風景を見ることが出来る。 ●入館料 大人 300円 小人 150円 ☎0748-48-7101 P WC

(休館日)
◆①~⑤、観峰館
月曜日、祝日の翌日、年末年始
◆金堂まちなみ保存交流館
月・火曜日、祝日の翌日、お盆、年末年始

④ 五個荘近江商人屋敷 藤井彦四郎邸
観峰館 Kampokan (点滅)
書道文化と世界を学ぶ博物館「観峰館」は、6階建の本館、中国の建築様式である四合院に似た造りの書院、民族館等で構成されたユニークな外観を持つ博物館である。本館には世界の文字資料、書院には中国の書画・三希堂様式の書斎、民族館にはアフリカ諸国やオセアニア地域の仮面や神像・欧米のアンティーク家具など、世界各国の歴史資料が展示されている。 ●入館料 一般 500円 大学生・高校生 300円 中学生以下 無料 ☎0748-48-4141 P WC
※特別企画展開催中は、別途料金が必要

川戸(かわと)屋敷内に水路を引き込み、屋根をかけ、洗い場となっている。(防火用水にもなり魚も飼える)

と近江商人屋敷の町並みを見ませんか?

お勧めフォトポイントです!

⑤ 近江商人博物館 中路融人記念館

近江鉄道バス
WC トイレ
P 無料駐車場
レンタサイクル

北町屋 ※駐車場へはこの交差点からお入りください

至近江八幡・京都
至竜王I.C.

至八日市I.C.

竜田

宮荘
至米原
至彦根I.C.

五箇荘

ごかしょう

白壁・舟板張りの土蔵が続く、風情豊かなまち
近江商人の軌跡をたどる...



- 五箇荘の町並みを歩いてみよう!**
- ① ぶらざ三方よし 約5分
 - ② 金堂の町並み 近江商人屋敷 (外村邸・中江邸) 散策約90分
 - ③ 近江商人博物館 約10分
 - ④ 近江商人屋敷 藤井彦四郎邸 約15分
 - ⑤ 近江鉄道「五箇荘駅」 約15分

金堂の町並み
(重要伝統的建造物群保存地区)

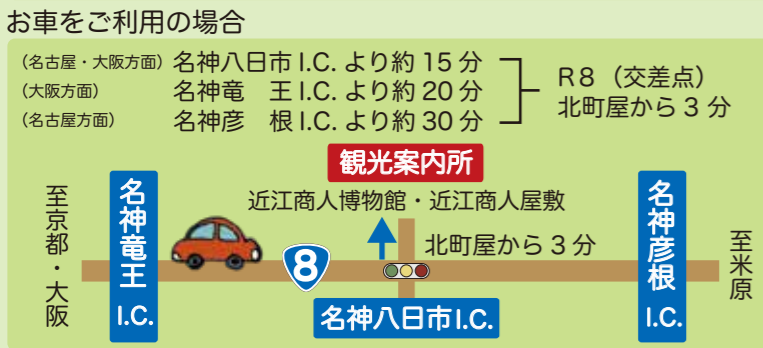
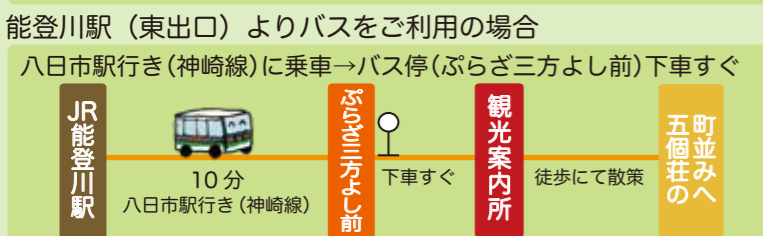
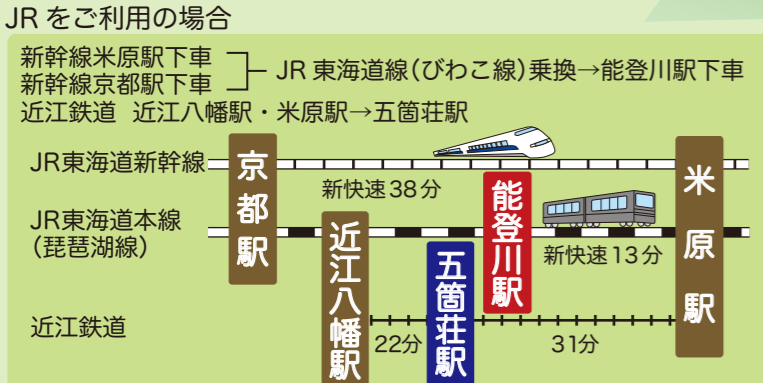
平成10年12月25日、金堂の町並みは国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。選定理由は、「金堂の町並みは古代条里制地割を基礎に大和郡山藩の陣屋と社寺を中心に形成された湖東平野を代表する農村集落で、加えて近江商人が築いた意匠の優れた和風建築群の歴史的景観を保存し、わが国として価値が高い」とされています。近江商人たちは、郷里を離れることなく、金堂の本宅を守り、進んで社寺や公共のために出資しました。彼らが育み、現在にもなお受け継がれている白壁、舟板張りの屋敷の町並みをお楽しみください。

日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」について

五箇荘金堂地区には、近江商人の本宅と農家集落が一体となった歴史的な町並みが残り、集落内には今も美しい水路が流れています。重要伝統的建造物群保存地区であるこの地区が、「琵琶湖とその水辺景観——祈りと暮らしの水遺産」の一つとして、2015年に日本遺産に認定されました。水と人の営みが調和した日本の原風景とも言うべき文化景観での町歩きをお楽しみください。

お問い合わせ・ボランティアガイドの予約は
一般社団法人 東近江市観光協会
TEL 0748-48-2100
FAX 0748-48-6698

五箇荘までのアクセス



WC トイレ
P 無料駐車場
🚲 レンタサイクル
🚋 近江鉄道バス

0 400m